

壁面補修について

作品設置などにより、壁面への穴あけをされる場合は、パテ埋め及び塗装による補修をお願いしております。下記に注意事項を記載いたしますので、必ずご一読いただき順守いただきますようお願いいたします。

- ご経験者自身または監修により作業にあってください。どうしても経験者の配置が難しい場合は、事前に下記リンクおよび「補修の流れ」をよくご覧いただき、ご準備ください。
<https://youtu.be/ssk50dy7FC0?si=9xvTJLJgnqsGghQf>
- パテ、塗料、紙ヤスリ、トレー、ローラーはスタジオにて支給させていただきます。養生や雑巾など、支給材の他に必要な資材は、ご自身にてご用意ください。
- 虫ピンの小さな穴も、必ずパテと塗装による補修を行なっていただきます。テープの使用により塗装が剥がれた場合も同様となります。ご注意ください。
- 運営担当の確認により、穴の補修漏れ、塗装漏れ、ヤスリ不足による凹凸、上塗り不足による色ムラ、ハケ目残りなど、補修不足が見受けられた場合は、1箇所につき 2,000 円（税別）の追加補修費用をご請求いたします。

<補修の流れ>

▼パテ埋め：

1. ビスやピンを抜く。
2. 支給パテによる穴埋めを行う。*備品類は3階キッチン横の棚よりご使用ください。
3. パテが乾いたことを確認した後に、ヤスリがけし表面をならす。
4. 再度全体を確認し、穴が残っていないか確認する。

▼塗装：

1. 床に塗料が落ちないように養生を行う。*養生シートはご自身にてご手配ください。
2. 塗料の缶を上下左右に振りよく攪拌（かくはん）する。
3. 少量をトレーに出しよく混ぜる。
4. ローラーで補修箇所を薄く下塗りする。
*ローラーの使用を推奨いたします。ハケを使われる場合は、ハケ目が残らないよう十分にご注意ください。
5. 下塗りが乾いたことを確認し、上塗りする。*塗装は必ず二度以上行ってください。
6. 上塗りが乾いた後、塗りムラがないか、塗り残しがないか確認する。必要な場合は上塗りを重ねる。

▼仕上げ/確認：

1. 最終的に穴残りがいないか、塗り残しがないか、再度確認する。
2. 養生を取り外す。床に汚れがある場合は拭き取る。
3. 残った塗料はペーパーや雑巾などで拭き取りゴミとしてまとめる。*ゴミはお持ち帰りください。
4. トレーとローラーを洗う。
5. パテ、塗料、トレー、ローラーを、3階キッチン横の備品置き場に戻す。